

出題の意図

問一 基本的な漢字の知識をもとに、文脈に応じた適切な読み・書きができるかを問う問題。

問二 (1) 本文の内容を正確に把握した上で、指定された本文の文脈に合致しない選択肢を選ぶ力を問う問題。

(2) 本文の内容を正確に把握した上で、指定された本文の文脈に合致する適切な箇所を抜き出す力を問う問題。

問三 著者の主張の理由を本文の内容から適切に見出し、指定された語を用いながら、定められた字数で説明する力を問う問題。

問四 本文の内容を正確に把握した上で、指定された本文の文脈に合致する適切な箇所を抜き出す力を問う問題。

問五 本文の内容を正確に把握した上で、著者の主張ともっとも合致する選択肢を選ぶ力を問う問題。

問六 (1) 本文の内容を正確に把握し、著者の用いる言葉を適切に説明する力を問う問題。

(2) 同前

問七 本文全体の論理的な構成を正確に把握する力を問う問題。

解答例・評価の観点

問一 (解答)

- |   |        |   |       |   |    |   |            |
|---|--------|---|-------|---|----|---|------------|
| a | リュウチョウ | b | シャショウ | c | 眺  | d | ハバ         |
| e | 発揮     | f | 繊細    | g | 配慮 | h | シツヨウ(シツオウ) |

問二

(1) (解答) エ

(2) (解答) エリスにとって吃音は問いであり、会ったことのない先祖と対話する

機会でもあるのだ。

問三 (評価の観点)

- 筆者の主張を正しく読み取り、それを適切な語や事例を用いながら説明できている。
- 指定された語句を用いている。
- 解答の文章が適切に整っている。
- 定められた字数の範囲で記述している。

問四 (解答) 彼らは社会 ゝ のである。

問五 (解答) ウ

問六 (1) (評価の観点)

- 本文中の用語の意味を正しく読み取り、適切に説明できている。
- 解答の文章が適切に整っている。
- 定められた字数の範囲で記述している。

(2) (評価の観点)

- 本文中の用語の意味を正しく読み取り、適切に説明できている。
- 解答の文章が適切に整っている。
- 定められた字数の範囲で記述している。

問七 (解答) 第二段落 障害とこのこ

第三段落 近年、以前

## 出題の意図

- 問一 古典文法の基礎的な知識が身につけていることを問う。
- 問二 基本的な古語と古典文法の知識を踏まえた、古文の読解力を問う。また的確に古文を現代語訳できる表現力を問う。
- 問三 和歌の基本的な修辭、古語と古典文法の知識を踏まえた、和歌の理解を問う。また和歌を的確に現代語訳できる表現力を問う。
- 問四 基本的な古文常識および和歌の修辭についての知識を問う。かつ文章全体の内容を正確に把握していることを問う。

## 解答例

- 問一 ヤ行下二段動詞「おぼゆ」未然形／受身の助動詞「らる」連用形／（謙讓の補助動詞）ラ行四段動詞「たてまつる」連用形／過去推量の助動詞「けむ」連体形
- 問二 それぞれ古語の意味、語法、文法に即して正確な現代語訳となっていること。また文脈を理解しての現代語訳となっていること。
- (ア) 「夜もすがら」は、一晚中、夜通し、の意。「ののしる」は、大騒ぎする、盛大にする、の意。
- (イ) 副助詞「さへ」、反実仮想「ましかば（〜まし）」の構文を理解して訳す。【注】の「結びおきし〜」の和歌を踏まえていることに留意。「思し慰む」は「思ひ慰む」の尊敬語。
- (ウ) 「なのめなり」は平凡だ、並一通りだ、の意。「かたほなり」は、不十分だ、不出来だ、の意。「ことわりなり」は、道理だ、当然だ、の意。「だに〜まして〜」の構文に即して適宜語句を補いつつ訳す。
- 問三 「のぼりぬる煙」は、墓上を火葬にした煙。「わかねども」は見分け、区別がつかないが、の意。「なべて」はすべて一様に、の意。【注】の「大空は〜」を踏まえて訳す。

## 出題の意図

- 問一 漢文の基本的な語彙力を問う。
- 問二 漢文の重要句法の知識と漢文訓読の能力とを問う。
- 問三 漢文の読解力と邦語訳の的確な表現力とを問う。
- 問四 漢文の重要句法の知識と漢文訓読の能力とを問う。
- 問五 漢文の読解力と邦語訳の的確な表現力とを問う。
- 問六 問題文のテーマを把握した上で、全体の文意を限られた字数に摘要する能力を問う。

## 解答例・評価の観点

## 問一（評価の観点）

漢文の基本的な用語を理解しているか

a 「のみ」、b 「すゝむる」、c 「ことに」

## 問二（評価の観点）

「令」、「以為」の用法等を理解しているか

## 問三（評価の観点）

比較を表わす文章であること、及び何と何との比較か等を理解しているか

## 問四（評価の観点）

「為―所」の用法等を理解しているか

## 問五（評価の観点）

「所軽者」「思」が指している内容等を理解しているか

## 問六（評価の観点）

「書に秀でていた丁覘は、その身分の低さから、一部の人間以外から軽んじられていた」という状況から、「丁覘の文字が書かれた物が失われ、以前丁覘を軽んじた者が入手しようとしてもできなかった」という状況への変化等を理解しているか